

目 次

略語表

中近東全体地図

凡例

第1章 危機の勃発——イラクのクウェート侵攻	1
1 イラクの地誌等	1
2 湾岸危機の背景	2
(1) イラクの領土問題	2
(2) フセイン大統領によるイラク統治	4
(3) アメリカの中東への関与	5
(4) イラン・イラク戦争	6
(5) イラクの苦境とクウェートとの開戦決意	10
3 イラク軍のクウェート侵攻	12
(1) クウェートの概要（地理とその歴史）	12
(2) クウェート軍の戦力	13
(3) アメリカの誤算	14
(4) イラク軍の戦力	16
(5) クウェート侵攻の状況	22
(6) 国際社会の反応	25
(7) 開戦前のイラク	26
 第2章 陸上作戦から見た湾岸戦争	28
1 湾岸戦争までのアメリカ陸軍——ベトナム戦争後の戦い方の改革	28
(1) 最も新しい戦争から創り出した新しい戦い方	30
(2) 戦い方に関する専門的な論争	37
(3) 戦場を観る視点の変化	41
(4) 「戦役」の概念の導入	48
2 湾岸危機と「砂漠の盾」作戦——サウジアラビアの防衛	52
(1) 湾岸危機前のアメリカ軍	53
(2) イラクのクウェート侵攻とアメリカの対応	55
(3) 「砂漠の盾」作戦の開始	59
(4) 湾岸地域への展開と「砂漠の盾」作戦の修正	63
(5) 攻勢作戦の検討	71
(6) 湾岸地域への増派と攻勢作戦構想の決定	76
(7) 陸上攻勢作戦の具体化	80

3 「砂漠の嵐」作戦——陸上攻勢作戦の準備	86
(1) 戦略的航空作戦	86
(2) スカッド・ミサイルによる攻撃	89
(3) カフジに対する攻撃	94
(4) 陸上攻勢作戦の準備	109
(5) 陸上攻勢作戦の開始時期	134
4 「砂漠の嵐」作戦——陸上攻勢作戦の実施	135
(1) 2月24日（G日）以前の陸上作戦	136
(2) 2月24日（G日）の陸上作戦	156
(3) 2月25日の陸上作戦	179
(4) 2月26日の陸上作戦	194
(5) 2月27日の陸上作戦	211
(6) 2月28日の陸上作戦から3月3日の停戦合意まで	225
第3章 海上作戦から見た湾岸戦争	234
1 「砂漠の盾」作戦における海上作戦	234
(1) 湾岸危機まで	234
(2) 「砂漠の盾」作戦	247
2 「砂漠の嵐」作戦における海上作戦	263
(1) ペルシャ湾の自然環境	263
(2) 海上部隊の指揮編成等	269
(3) 海上作戦の計画	276
(4) 海上作戦の展開	282
(5) 各種戦の問題点	300
3 停戦後の海上作戦	303
(1) 多国籍海軍の掃海作戦	305
(2) 海上自衛隊の掃海作戦	312
4 湾岸戦争における海上作戦の分析	334
第4章 航空作戦から見た湾岸戦争	338
1 湾岸戦争までのアメリカ空軍——訓練、装備、運用思想の変遷	338
(1) 核戦争優先がもたらした戦術空軍への影響	338
(2) ベトナム戦争における戦術空軍の航空作戦	339
(3) 訓練改革のきっかけとなった二つの報告書	345
(4) 訓練の改革	348
(5) レッド・フラッグ	351
(6) 新型機の登場	354

2	「砂漠の盾」作戦における航空作戦計画の策定	361
(1)	湾岸危機前の計画	361
(2)	政策目標および政治の計画への関与	365
(3)	「インスタント・サンダー」	366
(4)	ワーデン大佐とホーナー中將	372
(5)	防勢航空作戦計画	373
(6)	攻勢航空作戦計画とその後の発展	374
3	アメリカの航空戦力展開	382
(1)	湾岸危機の始まり	382
(2)	湾岸への戦力展開	383
4	「砂漠の嵐」作戦開始から地上戦闘開始前までの航空作戦	392
(1)	多国籍軍における航空作戦の組織	392
(2)	多国籍軍の航空作戦の最終計画	393
(3)	多国籍軍の航空戦力	398
(4)	開戦第1夜(1月17日)	400
(5)	第1日昼間(1月17日)	405
(6)	D+1日(1月18日)	406
(7)	第1週(1月17～23日)	407
(8)	「大スカッド狩り」	409
(9)	絶対的航空優勢	410
(10)	第2週(1月24～30日)	412
(11)	カフジの戦い(1月29日～2月1日)	412
(12)	第3週(1月31日～2月6日)	413
(13)	第4週(2月7～13日)	413
(14)	一般市民の空襲被害とその影響	414
(15)	陸上攻勢作戦準備	415
(16)	第5週(2月14～20日)	418
5	陸上攻勢作戦開始後の航空作戦	419
(1)	陸上攻勢作戦開始直前の航空作戦の成果	419
(2)	対地上攻撃任務の定義と分類	420
(3)	戦争の第4段階への移行	423
(4)	地上作戦計画と航空支援	424
(5)	多国籍軍航空部隊の地上戦闘支援	430
(6)	2月24日の航空作戦	431
(7)	2月25日の航空作戦	432
(8)	2月26日の航空作戦	434
(9)	2月27日の航空作戦	435

(10) 航空阻止	436
(11) 近接航空支援	439
(12) 戦略航空作戦の並行的実施	440
6 湾岸戦争がエア・パワーに示唆するもの	441
(1) 湾岸戦争の特異性	441
(2) 航空優勢の確保	442
(3) 戦争における重心	446
(4) 相互運用性に関する問題	447
(5) 湾岸戦争と「軍事上の革命」	448
第5章 統合作戦から見た湾岸戦争	450
1 はじめに	450
2 アメリカ中央軍の任務、担任地域および組織	452
(1) 中央軍の設立過程	452
(2) 中央軍の体制が湾岸戦争に及ぼした影響	457
3 アメリカ軍中央の指揮系統とゴールドウォーター＝ニコルズ法	459
(1) 湾岸戦争における航空作戦計画の立案過程	460
(2) 航空作戦立案過程にみる統合に関する問題点	469
4 統合航空構成部隊指揮官	470
(1) 陸軍に対する影響	471
(2) 海兵隊に対する影響	479
(3) 海軍に対する影響	482
5 湾岸戦争における統合兵站	486
(1) 湾岸戦争における統合輸送	486
(2) 統合輸送上の問題点	502
6 まとめ	505
第6章 アメリカ軍以外から見た湾岸戦争	507
1 「砂漠の盾」作戦時の状況	507
(1) 関連各国の対応	507
(2) 指揮統制系統	511
(3) 海上封鎖	513
(4) 「砂漠の盾」作戦初期の状況	515
(5) 西側諸国の多国籍軍への参加	517
(6) アラブ諸国の湾岸への展開と各国の軍の状況	527
2 「砂漠の嵐」作戦——航空作戦	536
(1) 全般	536

(2) 西側諸国の派遣空軍の作戦状況	538
(3) アラブ諸国空軍の活動	549
(4) 航空作戦の各種側面における状況	554
(5) 航空作戦への寄与	563
3 「砂漠の嵐」作戦——地上戦	563
(1) カフジの戦い——本格的地上戦前の前哨戦	563
(2) 多国籍軍による地上戦の実施	569
(3) 地上戦終了後	594
(4) 地上作戦の評価	595
4 まとめ	596
(1) 各国指揮官の人間関係	596
(2) 常続的な共同訓練（連合訓練）の有効性	597
(3) 友軍相撃の必然性	598
(4) 軍事能力格差があった故に円滑だった連合作戦	599
(5) 調整組織の重要性	600
(6) 特異な国際環境および経費の負担	601
(7) 連合作戦に必要な通信機材等の供給	602
(8) 連合作戦の形態	602
第7章 政治外交から見た湾岸戦争	605
1 戦争の帰趨を左右した政治外交上の要因	605
(1) 集団安全保障システムの作動	605
(2) アメリカのリーダーシップ	606
2 国際的な対イラク包囲網の形成	608
(1) 「クウェート解放」へのコミットメント	608
(2) 「砂漠の盾」作戦に向けて	611
(3) イラクの政略への対処	612
3 武力行使オプションへのコミットメント	614
(1) アメリカ軍増派の決定	614
(2) 国連安保理における武力行使容認決議の採択	615
(3) 平和的解決の模索	618
4 開戦と停戦	619
(1) 開戦と多国籍連合の運営	619
(2) 停戦の決断	622
付録：組織図	624
主要参考文献	630